

令和8年度

高階西小学校だより



学校教育目標 ～力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ～

令和8年4月8日

「ことば」を大切に、心通い合うスタートを

校庭の桜が、春の柔らかな風に誘われて軽やかに舞い、子供たちの門出をお祝いする紙吹雪のように足元を淡いピンク色に染めています。木々には少しずつ瑞々しい若葉がのぞき始め、力強い生命の息吹を感じる季節となりました。

本日、午前中には始業式を行い、2年生から6年生の子供たちが新しい学級の友達や担任の先生と出会い、希望に満ちた表情で新年度のスタートを切りました。また、午後からは入学式を挙行し、81名の子供たちが新たに高階西小学校の仲間入りをしました。ご入学・進級、おめでとうございます。

令和8年度は、全校児童520名で船出いたします。高階西小学校で学ぶすべての子供たちの個性が、この季節の木々のように力強く、豊かに花開くよう、職員一同、教育活動に邁進してまいります。

【学校教育目標】

「自分のよさを発揮し、心豊かにたくましく生きる子ども」の育成
力を高め〔知〕 みんななかよく〔徳〕 さあ、やるぞ〔体〕

【目指す学校像】

「一人一人が自分のよさを発揮し、互いに高め合う学校」

【高階西小学校キャラクター「うさっち」】

全校児童から募集し、選ばれたキャラクターに、他の子供たちのアイデアを加えて生まれました。子供たちは自由帳にうさっちの絵を描いたりして、愛着を持っている様子がうかがえます。

体の色：川越のいもをイメージした紫と黄色

大きな耳：話をよく聞く子 ハートの耳：思いやりのある子

手に持った鉛筆：勉強をよくする子 ほうき：無言清掃をしっかりとやる子



「はじめまして」
一生のときめきを感じる言葉に、
この一秒ほどの短い言葉に、
「ありがどう」
この一秒ほどの短い言葉に、
人の優しさを知ることがある。
「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で、
勇気がよみがえってくる言葉がある。
「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で、
しあわせにあふれる言葉がある。
「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に、
人の弱さを見ることがある。
「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が、
一生の別れとなる時がある。
一秒に喜び、一秒に泣く。
一生懸命、一秒。
人は生きる。

一秒の言葉

小泉 吉宏

新しい環境での生活が始まるこの時期、私が大切にしたいと考えているのが「ことば」の力です。日常のふとした瞬間に交わされる「短い言葉」が、誰かの心を温め、支えになることがあります。

学校という集団生活の中で子供たちが温かな言葉を交わし合い、響き合う心を育ていけるよう、丁寧に見守ってまいります。